



第2部

平成25年度  
第1回市民意見交換会

市民と市議会の意見交換会

第2部の市民と市議会との意見交換会では参加された市民の方から多くの意見が出されました。

市民の皆様の意見の一部を掲載します。

○伝統工芸士の減少が大きな問題となっている。減少傾向にある伝統工芸士を市の職員として雇用してはどうか。

○高山は観光だけでなく環境も良いということをアピールするため「環境観光都市宣言」をしてはどうか。

○城山公園の白雲水が市民のオアシスとなるよう整備してほしい。

○不妊治療に対する厚い支援が行われているが、この支援を後退しないようにしてほしい。また、手続き上のシステムを簡素化してほしい。

○子どもが喜んで学校

に通えるよう教育環境整備として、すべてのトイレのシャワー化と各教室へのエアコンを設置すれば、高山は素晴らしいと思う。

○協働のまちづくりの説明会が開かれているが、ただ組織だけ作って、あとは自分たちで活動していきなさいという考え方は理解できない。

○飛驒の里は素晴らしい施設であるが、地元の方にどれくらい理解されているのか疑問に思う。市民が高山市の財産である飛驒の里を守って行きたいという気持ちになっていただければと思う。

○政策検討市民委員会から検討結果が市長へ提案・提言されたが、議会としてはどのような対応されるのか。

○町内によって少子高齢化がすすんでおり、

深刻化している。小さい町内では町内の役員で疲弊している状態である。町内の区割りの見直しについて検討してほしい。

その他、多くの意見がありました。貴重なご意見は今後、議会の調査研究活動の参考とさせていただきます。



平成25年度第1回市民意見交換会アンケート

【参加者の意見・感想】

- ・最初チラシを見て高校生の考えを聞いてみたいと思い、内容をよく見たら主催が市議会であったことに驚いた。同時に古い議会像（行政の案に対して何かとすぐ反論したり揚げ足を取り地元優先の意見を言う）から新しい議会像（行政とともに市民の声を拾い、より良い市政を模索していく姿勢）に変わってきたことを実感した。一人でも多くの市民に市政に参加していただけることを願っている。
- ・参加者の内容に充実感がなくもう少し徹底されたい。意見交換としての期待が外れた。
- ・若い子どもたちがあえて分かれて討論されることに意味深いものがあり、我々に対しての今後のあり方への問題提起と思われる。
- ・ディベートというものはどういうものか理解できた。意見交換会、丁寧な答弁に安心した。
- ・本来のディベートとは違っていたが、子どもたちの視点からみた高山市の魅力や弱い点、それぞれの立場で自分たちの考えとしてしっかりと発言できることがすばらしい。こうした子どもたちが増えて高山を支えていけるよう、大人たちが見本を示して守っていききたい。

※アンケートの集計結果の一部をP14に掲載しています。

参加した高山西高校生徒の感想（抜粋）

この意見交換会に参加し、練習期間に高山について調べていくと、高山市についての良いところ、悪いところがある。でも、その悪いところ、直してほしいことを直接述べることでできる機会が設けられているということは悪いところを改善して良いことに変えられるいい機会だと思いました。これからもっと、良い高山市になっていくんだろうなと思うと、すごく楽しみです。就職してまた高山に戻り、市のためになることができよう、進学しても頑張っていきたいです。